

# 有明浜の海浜植物 とアサギマダラ

## だより7号

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会発行

### ■有明浜の清掃活動を紹介

8月13日

有明浜の清掃活動を実施しました。やや海風の吹く中、暑かったです。手分けしてマイクロプラスチック等のゴミを拾いました。

また、草焼きバーナーを使い外来植物のアメリカネナシカズラを、焼却する実験を行いました。これは、安全に使えたので来年度に



9月10日

本日の有明浜清掃はなく安眠枕の作り方講習とウンランの花見会を行いました。

まず、小西さんよりウンランについて説明がありました。8月末に開花しているのを確認していましたが、その後の降雨により開花が進みませんでした。本日の活動は、三豊ケーブルテレビの取材を受けています。



購入できればと考えています。

アメリカネナシカズラはヒルガオ科の1年草で他の植物に寄生します。黄色い茎がハマゴウなどを覆うように広がり葉緑素は持ちません。北アメリカ原産の帰化植物です。有明浜の海浜植物の生育の邪魔をするので除去しなければなりません。



次に、ハマゴウの実を使った安眠枕の作りかた講習です。小西さんは100円均一の商品を準備していて、これを使って安眠枕を作る手順を、実例を示しながら丁寧に説明を行います。

有明浜のハマゴウを使った

## 枕手作り体験教室

作り方手順

- ①有明浜でハマゴウの実を採集する
- ②採集した実の葉などを除き整理する
- ③実を天日干しにして4日以上乾燥させる
- ④乾いた実を揉んで皮を取る
- ⑤枕の袋を100円均一のお店で購入する  
(大ファスナー付1、小ファスナー・マジックテープ付2)
- ⑥小さい袋にハマゴウの実、もうひとつの袋にナイロンパイプを刻んだものを入れる
- ⑦大きい袋に小さい袋2つを入れる  
(小さい袋どうしをマジックテープで固定)

発行：有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

ハマゴウの実を採取しています。素敵な安眠枕ができるといいですね。



有明浜のウンランの自生地には、柵をして人が入らないよう保護しています。香川県内では有明浜にしか自生していません。花季は8月から10月で茎の先に黄白色で仮面状の花をつけます。

思ったよりもとても小さな花と株です。小さ

いながらもその可憐さに感動です。元々は大きかったらしく西日などが当たる悪環境により、全体が小さくなったらしいとのこと。和名は海蘭と言ひ、花期は8月下旬から10月。

ウンランの写真は高橋泰雄さん、一株オーナーの関雅美さんより頂きました。



10月8日

9番ゲート付近のマイクロプラスチック等のゴミ拾いは12名の参加でした。



大西 計さんが昨年採取したスナビキソウの種子を持ってきていて、実験的に蒔いてみようということです。種子の表皮は固くコルク質、大きさが8ミリから10ミリぐらい。蒔いた場

所は7番ゲートから8番ゲートの間です。海水に流され砂浜に打ち上げられ、それから発芽するそうです。5月にアサギマダラが吸蜜にやってくるため、保護していきたい植物ですね。



ネコノシタ（左画像）とハマニガナ（右画像）が多く見られた。葉っぱは厚く硬い毛が生えていてざらつくことから、ネコノシタ（猫の舌）と名前がついた。ハマニガナは直径2~3センチの黄色い花をつける。和名は花苦茎と言う。有明浜全域の波打ち際近くで見ることができる。画像中央は群生するネコノシタ。



## ■ オーナー様に聞いてみた

10月2日にハガミ山 木之郷フジバカマ園に子供たちと一緒にやってきてくれた太田さん親子。フジバカマ園で元気いっぱいの親子にインタビューさせていただきました。

Q1) オーナー制度は知っていましたか  
はい

Q2) フジバカマ園の苗は無料だと知っていましたか  
はい

Q3) フジバカマ園は主に太田晴夫さんが世話していることは知っていましたか  
はい

太田淳一さん	36歳
一歌ちゃん	8歳
弥花ちゃん	4歳



Q4) 2022年4月3日に皆でフジバカマ苗を植え付けした時に感じたことを教えてください

一歌ちゃんは、「早く大きくなるといいな。アサギマダラがくるといいな」と答えてくれました。

Q5) 有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は有明浜の清掃活動をしていること知っていましたか

いいえ

Q6) ボランティアとして有明浜の清掃活動に参加してみたいと思いますか

はい

別の日に一歌ちゃんにもインタビューしました。  
私を用意した用紙に書いて来てくれました（原文通り）

Q1) 標本はどうして作るようになったの

モルフォちょうのひょう本を買ってきてもらいました。それがとてもきれいだったので自分でやりたいと思いました。

Q2) お父さんが教えてくれたのかい

さいしょはりちゅーぶを見て作りはじめました。こと年の夏、はくぶつかんの先生にただしい作りかたを教えてくださいました。

Q3) 蝶のこといっぱい知っているんだってね、どうやって覚えたの

図かんを見たり、つかまえたり、ツイッターでいろいろな人におしえてもらっています。

Q4) 一歌ちゃんは昆虫博士ですか

もっと、べん強がひつようです。ちょうのはか士になりたいです。

Q5) なぜ蝶が好きになったの

3さいのときにイモムシ ケ虫がすきでした。イモムシがきれいなちょうになることおしって大すきになりました。

## ■ アサギマダラ飛来の感動が私にも

10月6日

当日は前夜からの寒冷前線通過により、気温が下がり午前中は18℃から20℃と少しひんやりしていました。高橋泰雄さんと私（泉宮）のふたりでハガミ山 木之郷フジバカマ園の当番をしていました。

高橋さんが「来た！」と小声で言いました。何が来たかすぐにわかりました。アサギマダラです。私は初めて出会いました。ひらりひらりと飛ぶ姿は、アゲハ蝶とは明らかに違いました。フジバカマに吸蜜する姿は写真等で見ていた通り優雅そのものです。

アサギマダラの浅葱とは薄いネギの葉の色と言うそうで遠目に見える青っぽい翅、澄み切った浅葱色のグラデーションが本当にきれい。

高く上空に舞い上がる姿は、2000キロも旅をする蝶の持つ体力を感じました。当日は13頭がやって来ました。（←この文章は感動を忘れないために当日書きとめました。）



申し遅れました私は広報誌「だより」の編集を行っています泉宮幸司（いずみやこうじ）といます。今年の写真展で入会しました。清掃活動と一緒にいき、海浜植物観察会に参加、オーナーの集いに協力。ようやく、ここにきて有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会の活動がなんとなくわかってきました。よろしくお願いします。

## ■ オーナー様の集いを開催

10月15日

ハガミ山 木之郷フジバカマ園で行われました。当日は快晴でアサギマダラ飛来にはちょうど良い気温になりそうです。スタッフは法被を着てましたから動くとき暑いぐらいでした。午前9時過ぎあたりからアサギマダラの数が増えていき、午前中は60頭、1日の総数は101頭来ました。

オーナー様は41名の参加、一般の来場者は40名でした。

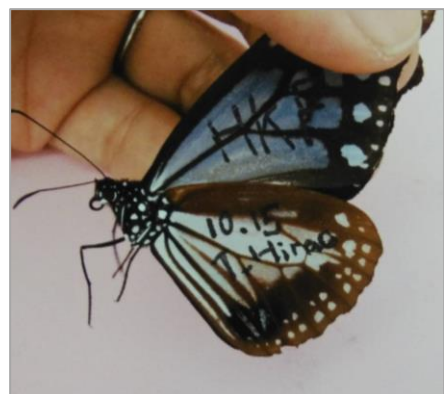
何人かのオーナー様は、車の駐車場までの誘導等に協力をしてくださいました。本日のオーナー様の集いは、千尋神社に準備した駐車場がいっぱいになるほどの大盛況でした。



お世話をしてくださった太田さんより説明がありました。春先の石灰、堆肥の投入、夏の水やり、草削りを毎週にわたり実施してくれてありがとうございました。



子供らにマーキング蝶の体験を行ってもらいました。ハガミ山の[H]、木之郷の[K]、フジバカマ園の[F]つまりHKFを標識地として日付10.15 名前をアルファベットで書きます。



マーキングの後は手のひらに乗せて放蝶するのですが、アサギマダラは死んだふりをしてなかなか飛ぼうとしません。(左画像) やっと飛び、放蝶の瞬間です(右画像)



左側のテントには大西 計さん提供の「アサギマダラ等の写真」展示ブースになります。紐を通し、洗濯ばさみで写真を吊るします。手作り感満載、これがいいんです、親しみが湧きます。



展示の一部です。とても綺麗な写真ばかりです。4枚写真の左上はアカタテハ、右下は珍しいイシガケチョウ、他はアサギマダラ。



右側のテントには小西武利さん提供の「有明浜の海浜植物パネル」展示ブースになります。海浜植物の環境保全・保護育成を一般の人たちに紹介することは、とても大切なことです。



下は有明浜海浜植物の一例、アツバスミレ、スナビキソウ、ハマウツボ。



畑にたくさん咲いているフジバカマを、希望者には切り花として持って帰ってもらいました。



## ■ ハガミ山 木之郷フジバカマ園のメディアによる紹介 etc

四国新聞 10月18日付

おりーぶ通信 10月17日付

西日本放送ラジオ 10月18日 9時35分頃 杉村会長 生インタビュー

KSB 瀬戸内海放送 10月20日 18時58分頃 木之郷フジバカマ園紹介

Yahoo!ニュース 10月20日 19時39分頃

d menu ニュース 10月20日 19時39分

goo ニュース 10月20日 19時39分

観音寺公式 Twitter 10月20日

ガーカガワ取材 10月26日